

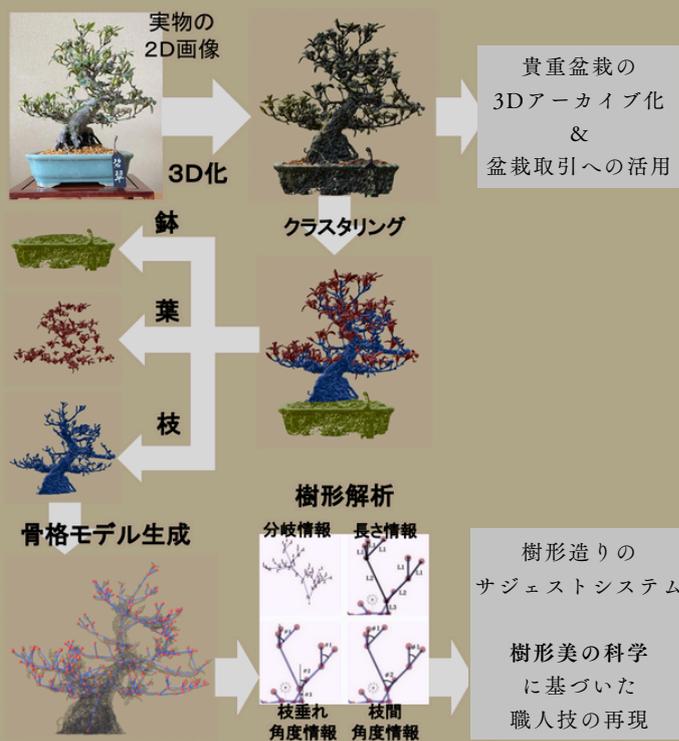
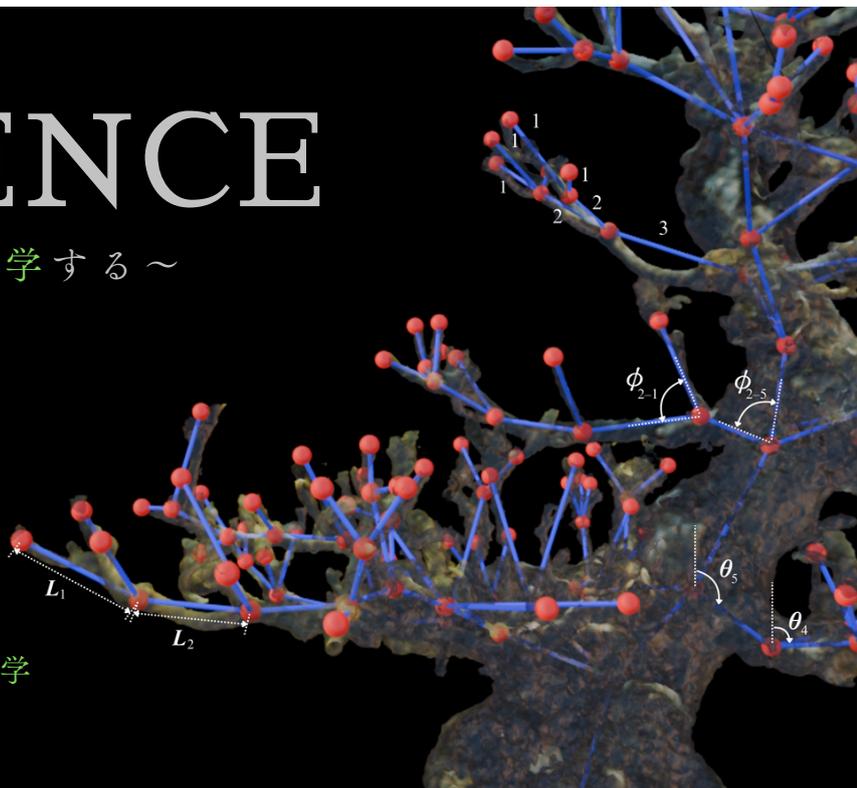


BONSAIENCE

～盆栽のカタチの美を科学する～

開発内容：

1. 自動撮影による3D成長記録
2. 盆栽特化の骨格検出アルゴリズム
3. 独自の分析手法を用いたカタチの美の科学
4. 剪定・針金かけの科学的サジェスト



3D化された盆栽が秘める可能性

人はなぜ盆栽を美しいと思うのか、ひいては日本人特有の美的感性の根幹とは一体何か。我々はこの壮大な命題に、科学的アプローチで挑みたい。盆栽の**カタチの美**に関しては、3Dデータから点と線で骨格を抜き出したのち、独自の評価指標（分岐情報・枝長さ情報・枝垂れ角度・枝間角度の4種）を計量することでその構造的性質を浮き彫りにできるかもしれない。さらに、盆栽の美醜が数値的に評価できれば、自分の持つ盆栽のどこに手を入れれば良いかをロジカルに導出できるかもしれない。BONSAIENCEでは、「日本が世界に誇る盆栽文化の保存・継承と、新時代の盆栽文化の提案」を目指します。

メンバー：内海忍、小山賢晋、丈野仁寿、進聡一郎、岡田憲、石丸大晟、松岡伸龍、石井友一朗、田中聡至、阿部太一

BonsaIoT は「2023年度福岡未踏的人材発掘・育成コンソーシアム」に採択されました。

経済産業省「AKATSUKIプロジェクト」採択事業で、IPA(情報処理機構)未踏IT人材発掘・育成事業の応募者/採択者が関東近辺に偏りのあることの解消を目的の一つとして、福岡県の未踏的な人材発掘を行っているコンソーシアムです。

プロジェクトマネージャー/メンターはIPA未踏事業経験者を中心に構成されています。企業や自治体とも連携し、県内の若手人材を支援しています。

詳しくはコチラ

